

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	札幌市立八軒西小学校 全学年 294名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳科) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック選手が実際に競技する様子を見たり聞いたりすることで、オリンピックとスポーツに対する興味・関心をもたせる。</li> <li>・夢の実現に向かって努力した人との出会いを通じ、努力し続けることが大切との考えを具体的に深めていくための視点をもつ。</li> </ul>
5 取組内容	<p>○指導計画【2時間扱い】</p> <p>①オリンピックによる講話を行う。(道徳科「国際理解と親善」)</p> <p>②道徳科の授業を通して、夢の実現や目標に向かって努力を続けることについて大切に思うことを書き、交流する。</p> <p>○取組の様子</p> <p>日本アルパンスキーのパイオニアとも言われる川端絵美氏を講師に迎え、オリンピックのことやご自身の半生について語っていただいた。講話の始めに、オリンピックやワールドカップでの活躍をまとめたDVDを見せていただいた。斜面を滑るスピード感、固い雪を削るエッジの音など、迫力のある映像に子どもたちは瞬く間にのめりこんでいった。その後、川端氏はご自身がスキーを始めきっかけやオリンピックに出場するまでの経緯について講話していただいた。講話のテーマは、大きく分けて三つあった。</p> <p>①頑張り続ける心～頑張ることと努力することの違い                  ②目標を達成するための極意～適切な目標の決め方                  ③今、壁にぶつかっている君に伝えたいこと～憧れ・人とのつながり</p>
	 

	<p>練習に取り組むときに気を付けたことやオリンピックを目指す上で実際に決めた目標例、怪我をしたときの気持ちなど、実感を伴った講話に、子どもたちは、真剣に耳を傾けていた。講話の最後には、スキーが上達するための極意を教えていただいた。お手本になる子をステージに連れていき、スキーを滑るときの姿勢や足首の固定の仕方についてアドバイスいただいた。子どもたちは、その場に立って実際に真似をしながら聞いていた。</p>	
<p>6 主な成果</p>	<p>講話のテーマについて、発達段階に即して設定した。そのことで、川端さんの言葉や伝えたいことなどが、子どもの心に残るものとなった。講話後に書いた子どもの感想を一部紹介する。</p> <p>「川端さんも言っていたけど、最後まで頑張るといいことがあるから、これからいろいろな頑張りたい」（1年生）</p> <p>「努力と頑張ることは違うと、今日初めて知りました。これからはたくさんの努力をして、目標を達成できるようにしたいと思います。」（4年生）</p> <p>「私は建築家になりたいと頑張っているつもりだったけど、川端さんの話を聞いて努力が足りないと思いました。これからも、目標に向かって日々努力しようと思います。」（5年生）</p> <p>「努力した成果を積み重ねていくことが大切だと知りました。自分にも『壁』があるので、乗り越えていけたらと思います。」（5年生）</p> <p>「いつも（自分は）できないと決めつけていましたが、こつこつ積み重ねていくことはとても重要なことだとわかりました。失敗は成功のもとというふうに考えて頑張りたいです。」（6年生）</p> <p>このように、川端さんの講話を自分の生き方とつなげて考える子がたくさんいた。また、自分のこれからについて、思いを深める姿が見られた。</p>	
<p>7 実践において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話を聞いた後、1～5年生は「希望と勇気、努力と強い意志」、6年生は「よりよく生きる喜び」の内容項目で、道徳科の授業を実施した。子どもは、夢やそれを達成するための努力という視点について、より一層、深く考えることができた。</li> <li>・講話の前に、本校の3年生は社会科の学習の一環として、札幌オリンピックミュージアムを訪れて調べ学習をしていた。また、そこでもオリンピックの方に講話をしていただき、札幌でオリンピックが開催された当時のことについて関心を深めていた。そうした活動があったことも、川端さんに伝えることによって、講話の中で関連した話をしていただけた。</li> </ul>	
<p>8 主な課題等</p>	<p>もっと学校で行われている教育活動と関連付けることができれば、より効果があるのではないかと感じた。より早い段階で講師の方と連絡を取り合ったり内容を検討できたりすると、見通しをもって計画を立てることができると考える。</p>	
<p>9 今後の取組について</p>	<p>今回の実践によって、夢や目標に向かって努力し続けることの大切さやそれを達成するための具体的な視点をもつ子どもの姿が見られた。同じような取組が今後もできれば、更に本校の道徳教育を充実したものにできる。</p>	